

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M224	1年	後期	看護学	選択	地域看護学特論Ⅱ Advanced Study on Community Health NursingⅡ	30	2	
担当教員									
田中 美延里		入野 了士							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
○	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
○	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
地域看護活動における方法・技術の特性を踏まえ、概念化・体系化への学術的な取り組みの変遷とその成果の活用について、実践・研究例を通して学ぶ。また、研究を進めるための汎用的能力として、地域看護分野の論文クリティークの基礎知識を学ぶ。									
到達目標（授業目標）									
1. 地域看護活動における方法・技術の特性を説明できる。 2. 地域看護活動における方法・技術の概念化・体系化への取り組みと成果を理解できる。 3. 概念・体系化された方法・技術を用いて、実践例を解釈することができる。 4. 概念化・体系化された方法・技術の活用可能性について、実践者の立場で意見を述べることができる。 5. 地域看護分野の論文クリティークの基礎となる知識を修得し、実践上の課題解決に活用できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	地域看護活動における方法・技術の特性（田中美延里）								
2回	地域看護活動における方法・技術の概念化・体系化への取り組みと成果（田中美延里）								
3回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：システムレベル（1）（田中美延里）								
4回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：システムレベル（2）（田中美延里）								

5回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：コミュニティレベル（１）（入野了士）									
6回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：コミュニティレベル（２）（入野了士）									
7回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：個人・家族レベル（１）（田中美延里）									
8回	概念・体系化された方法・技術を用いた実践例の解釈、活用可能性の検討：個人・家族レベル（２）（田中美延里）									
9回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：魅力的な研究テーマと枠組み（入野了士）									
10回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：量的研究のクリティーク（入野了士）									
11回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：質的研究のクリティーク（田中美延里）									
12回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：アクションリサーチのクリティーク（田中美延里）									
13回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：わかりやすい研究結果の見せ方（１）（入野了士）									
14回	地域看護分野の論文クリティークの基礎知識：わかりやすい研究結果の見せ方（２）（入野了士）									
15回	地域看護実践上の課題解決に向けて：学習成果の発表、ディスカッション（田中美延里、入野了士）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
課題レポート（60％）、プレゼンテーション（40％）の合計で評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等		①横山美江編（2010）：よくわかる地域看護研究の進め方・まとめ方 保健事業の企画立案から評価への効果的な活用をめざして、医歯薬出版。②岡本玲子編（2020）：地域の強みを高める公衆衛生看護技術， 医歯薬出版。③山川みやえ＆牧本清子（2014）：よくわかる看護研究論文のクリティーク， 日本看護研究出版会。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
関連科目										
前科目	M202	看護研究方法論Ⅰ	M203	看護研究方法論Ⅱ	M223	地域看護学特論Ⅰ				
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ						
実務家教員										
保健師（行政機関）		田中 美延里	入野 了士							
備考										